

平成31年2月定例記者会見要旨(平成31年1月28日開催)

1. 今年1年の抱負について

今年には長期的な展望に立ったまちづくりの将来像を定めるとともに、その実現に向けた都市計画の基本的な方針となる「坂出市都市計画マスタープラン」、まちづくりの指針となる「坂出市立地適正化計画」、そして坂出港の競争力の向上を図るとともに、利用しやすい港づくりの推進に向けた「坂出ニューポートプラン」を新たに策定する。地域活力の向上と持続可能なまちづくりの両立に向けた、これら3つの計画の具現化に向けて、今後、計画的・効率的な事業展開を進めていきたい。

また、4月26日に開幕する瀬戸内国際芸術祭2019については、沙弥島を中心にアーティストと市民の共働による作品の制作、地域ならではの食の提供など様々な取り組みを通して、地域の魅力を活かした芸術祭になることを期待している。

本市独自の取り組みとして、瀬居島の空き家を利用した、神戸芸術工科大学アートプロジェクト2019を併催し、さらなるにぎわいの創出を図っていく。空き家の新たな活用事例となるものであり、芸術祭と連携することで、地域の活性化と交流人口の拡大につなげていきたい。